

令和4年号

発行日 令和4年7月15日  
発行所 笠間広域森林組合  
発行人 盛 田 守

# こもれび



プロセッサによる造材作業(城里町徳蔵地内)

## 山林経営の相談は森林組合へ

所有している山林の自己管理ができない。または、山林の経営をどのようにしてよいかわからない等の相談に、森林組合では専門的な知識を活かし山林の管理や経営の相談を受け付けておりますので、是非ご利用ください。

山林の保育管理とは、主に植栽・下刈り・枝打ち・除間伐・皆伐及び作業道の開設などがあり、内容により国及び県の補助金を活用することができます。

TEL : 0296-72-2510





生駒 久視議長あいさつ

今年度も、書面決議を中心とした総代会を5月26日ボレボレーム会議室において開催いたしました。

議長に生駒久視氏(笠間市上郷)を選出し、書面による議決137名、本人出席35名、合計172名によつて提案された全議案が可決承認されました。組合の経営状況は次のとおりです。

## 通常総代会を開催

第28回(令和4年度)

### 貸借対照表

令和4年3月31日

科 目	内 訳	小 計	合 計	科 目	内 訳	小 計	合 計
〈資産の部〉				〈負債の部〉			
流動資産				流動負債			
1. 現 金		35,725		1. 買 掛 金		73,634	
2. 預 金		60,073,647		2. 前 受 金		19,875	
3. 未 収 金	39,341,281			3. 未 払 金		10,652,970	
4. 貸 倒 引 当 金	△245,488	39,095,793		4. 未 払 法 人 税 等		960,000	
5. 購 買 品		267,927		5. 預 り 金		2,760,434	
6. 一 般 立 替 金		43,760		6. 造 林 補 助 金 預 り 金		832,840	
7. 前 払 金		128,040		7. 林 産 預 り 金		28,788,383	
8. 預 け 金		2,228		流動負債合計			44,088,136
流動資産合計			99,647,120	固 定 負 債			
固定資産				1. 施 設 整 備 引 当 金		4,000,000	
有形固定資産				2. 退 職 給 付 引 当 金		13,097,624	
1. 建 物		750,884		固定負債合計			17,097,624
2. 機 械 装 置		6		負 債 合 計			61,185,760
3. 車 両 運 搬 具		544,136		〈純資産の部〉			
4. 備 品		143,841		組 合 員 資 本			
5. 土 地		1,000,000		1. 出 資 金	24,844,000		
有形固定資産合計			2,438,867	未 払 出 資 金	0	24,844,000	
無形固定資産				出 資 金 合 計			24,844,000
1. 水道施設加入権		48,616		2. 利 益 剰 余 金			
2. 電 話 加 入 権		154,497		(1)法定準備金		7,870,000	
3. 無 形 固 定 資 産		76,500		(2)任意積立金		5,290,000	
4. 預 託 金		6,540		(3)その他利益剰余金			
5. ソ フ ト ウ ェ ア		222,445		①当期未処分剰余金			
無形固定資産合計			508,598	ア. 当 期 剰 余 金	1,996,229		
外部出資				イ. 前 期 繰 越 剰 余 金	4,228,596	6,224,825	
1. 系 統 出 資 金				剰 余 金 合 計			19,384,825
①県森連出資金	2,540,000			3. 資 本 準 備 金		120,000	
②農林中金出資金	400,000	2,940,000		資 本 準 備 金 合 計			120,000
外部出資金合計			2,940,000	資 本 合 計			44,348,825
固定資産合計			5,887,465	純 資 産 合 計			44,348,825
資 产 合 计			105,534,585	負 債・純 資 産 合 計			105,534,585

## 損益計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

区分	小計	合計	一般事業		
			指導	販売	森林整備
I 事業総損益		円	円	円	円
1. 収 益	164,303,037		1,696,000	19,853,963	142,753,074
2. 費 用	120,628,100		1,818,851	16,391,912	102,417,337
事 業 総 利 益		43,674,937	△122,851	3,462,051	40,335,737
II 事業管理費					
1. 人 件 費	22,892,588		1,132,763	686,776	21,073,049
2. 旅 費 交 通 費	437,620		371,977	21,881	43,762
3. 事 務 費	1,250,243		187,536	52,073	1,010,634
4. 業 務 費	3,281,737		492,258	131,267	2,658,212
5. 諸 税 負 担 金	6,629,794		331,489	198,893	6,099,412
6. 施 設 費	6,916,163		276,644	242,063	6,397,456
7. 雜 費	196,440		23,572	19,644	153,224
事 業 管 理 費 計		41,604,585	2,816,239	1,352,597	37,435,749
事 業 利 益		2,070,352	△2,939,090	2,109,454	2,899,988
III 経常損益					
1. 事 業 外 収 益	1,357,878				
2. 事 業 外 費 用	0				
事 業 外 損 益		1,357,878			
経 常 利 益		3,428,230			
IV 特別損益					
1. 特 別 利 益	149,999				
2. 特 別 損 失	622,000				
特 別 損 益		△472,001			
税引前当期純利益		2,956,229			
法人税・住民税及び事業税		960,000			
当 期 剩 余 金		1,996,229			
前期繰越剰余金		4,228,596			
当期未処分剰余金		6,224,825			

## 令和3年度 剰余金処分

科 目	積算内訳	小 計	合 計
I 当期未処分剰余金		円	円
II 剰余金処分額			6,224,825
1 法定準備金 (当期剰余金の 1/5以上)	800,000		
2 任意積立金	600,000	1,400,000	
III 次期繰越剰余金		4,824,825	

脚注 1. 次期繰越剰余金中、教育情報資金は、100,000円である。



盛田 守代表理事組合長あいさつ



総代会の様子

## 笠間広域森林組合役員

任期 令和4年度総代会～令和6年度総代会

役職名	氏名	地区名
代表理事組合長	盛田 守	七会地区
副組合長	小島 徳一郎	岩瀬地区
副組合長	柳原 正之	岩間地区
専務理事	岡井 俊博	笠間地区
理事	田口 賢三	笠間地区
	藤家 守雄	笠間地区
	青木 聰	笠間地区
	萩野谷 建夫	友部地区
	内桶 昇	友部地区
	郡司 均	友部地区
	園部 孝男(新任)	岩間地区
	森下 巖(新任)	岩間地区
	阿良山 清一	七会地区
	金子 栄治	七会地区
	梶山 興市	岩瀬地区
	高橋 健一	岩瀬地区
	代表監事	片岡 藏之
	監事	鶴田 英樹
	監事	石川 久子(新任)
地区外		岩瀬地区

選挙管理者  
仲田政男氏

任期満了に伴う役員選挙を令和4年4月28日公告、5月6日立候補届出開始～5月10日に締め切りの結果、定数内であったので選挙を行わず当選した旨、5月26日の総代会終了後に、選挙管理者田政男氏(城里町)から報告されました。

さるに、総代会終了後の理事会及び監事會で代表理事組合長に「盛田 守氏(七会地区)」、副組合長に「小島徳一郎氏(岩瀬地区)」、専務理事に「柳原正之氏(岩間地区)」、代表監事に「片岡藏之氏(七会地区)」が選任されました。

元理事 上野 征一氏(岩瀬地区)  
元理事 仲田 喜重氏(岩間地区)  
元理事 鈴木 裕士氏(岩間地区)

今期、任期満了により退任された役員は次のとおりです。

組合発展のために御尽力頂きありがとうございました。

新役員については次のとおりです。

## 任期満了による 新役員について

さらに、総代会終了後の理事会及び監事會で代表理事組合長に「盛田 守氏(七会地区)」、副組合長に「小島徳一郎氏(岩瀬地区)」、専務理事に「柳原正之氏(岩間地区)」、代表監事に「片岡藏之氏(七会地区)」が選任されました。

## 新規総代について

め選挙を行わず各選挙区の総代が決定いたしました。

各地区の総代数は次の表のとおりです。

当組合は総代制をとつており、6月10日に任期満了となるため、5月13日立候補届出、5月17日締切の結果、220名の定数内のた

今後とも、組合発展のためよろしくお願ひいたします。

## 総代選挙区定数表

令和3年7月定款改正

選挙区	市・町	地 区	定数
第1区	笠間市	笠間、日草場、大橋、飯田、池野辺、福田、大渕、金井、石寺	18名
第2区	笠間市	南吉原、北吉原、本戸、来栖、手越、上加賀田、下市毛	21名
第3区	笠間市	飯合、稻田、福原、箱田、片庭、大郷戸、石井、寺崎、日沢	26名
第4区	笠間市	平町、大田町、橋爪、中央、東平、八雲、上市原、中市原、下市原、小原、南友部、鴻巣	22名
第5区	笠間市	矢野下、大古山、鯉渓、五平、仁古田、随分附、湯崎、長兎路、住吉、旭町、柏井、下加賀田、南小泉	15名
第6区	笠間市	上郷	10名
第7区	笠間市	下郷、泉、市野谷、福島、土師、押辺、安居	21名
第8区	城里町	徳蔵、真端、大網、下赤沢、上赤沢	16名
第9区	城里町	小勝	10名
第10区	城里町	塩子	10名
第11区	桜川市	西小塙、加茂部、今泉、木植、猿田、曾根、松田、友部、上城、水戸、青柳、磯部、稻、高幡	17名
第12区	桜川市	岩瀬、犬田、下泉、西飯岡、大泉、久原、富岡、富谷、飯淵、長方、鍬田、中泉	13名
第13区	桜川市	入野、門毛、南飯田、間中、山口、平沢、池龜、坂本、大月、小塙、福崎、亀岡	17名
第14区	桜川市	旧真壁町・旧大和村	1名
地区外			3名
		合 計	220名

## 代理理事組合長挨拶



代表理事組合長  
盛田 守



参事  
池田 昌美氏

### 参事を選任

組合員の皆様には、組合の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

令和4年5月26日、任期満了による役員選挙において引き続き代理理事組合長に就任いたしました。

組合の運営につきましては、変化する社会経済や新たな課題に対応すべく役職員一同、組合経営の強化と効率的な運営に努めてまいります。



さて、昨年度は素材生産において、組合として最高の取扱高の実績を出すことが出来ました。

また、国の「森林経営管理法」が施行され、各市町から森林経営に対する意向調査や森林整備事業を受託いたしました。

今後各市町からの森林整備並びに関連事業が予定されており、組織体制を強化するとともに、間伐や皆伐事業を積極的に推進するため、集約化を図りながら、組合員の要望に応えられるよう効率的な運営を目指してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申しあげます。



組合職員（前列中央 盛田組合長）

## 全国林业经营推奨行事で 林野庁長官長を受賞

昨年度には、県の林業経営コンクールの最優秀賞を受け、令和3年度は（公益社団法人）大日本山林会が主催する「第60回全国林業経営推奨行事」に推薦された結果、組合の経営健全化に努め、地域の森林・林業への貢献度が高く評価され、令和4年3月8日に名誉総裁である秋篠宮殿下のご臨席のもと、表彰式が挙行され林野庁長官賞を受賞いたしました。全国表彰は組合創設後、初めての受賞でした。

これからも地域林業の担い手として組合員様の要望に応えるよう役員一同、組合経営の健全化に努めてまいります。





研修会の様子

笠間林業指導所  
電話 0296(72)1174  
筑西林業指導所  
電話 0296(24)9176

**「森林経営研修会」**  
令和3年度  
の開催について

最近、相続や名義変更に伴い所有している山林の経営についての相談が多くなっております。

このようなことから、令和2年度から3年度に相続や名義変更のあつた方を対象に、「森林経営研修会」を開催いたしました。

盛田組合長の挨拶の後、岡井専務理事から「森林組合について」、岡野総務課長から「森林の現状と課題について」「森林環境税と森林湖沼環境税について」、星野業務課長から「森林施業と方法について」の講義を行った後、各個人の相談会を実施し研修会を終了いたしました。

毎年名義変更等が約30件程度あり、所有している森林の状況や森林湖沼環境税活用事業（森林

主伐した後に植栽（再造林）しこンテナ苗を植林した場合は造林補助金等（標準経費の100%）を受けられます。

なお、交付条件等がありますので、組合又は各林業指導所にお問い合わせください。

**人工林伐採後の  
再造林を支援します**

**「いばらきの森再生事業  
(森林湖沼環境税活用事業)」  
のお知らせ**

林経営に対する相談などが多く寄せられます。  
今年度も所有している資料を活用し、ワンストップで森林の状況把握や森林の経営について相談できる体制づくりを推進するため「森林経営研修会」を開催してまいります。

組合で所有していたハーベスターの後継機として、造材専用のプロセッサを導入しました。素材生産をするうえで造材の大口径化や処理能力等が向上し、現場作業をより安全で行うことが出来ます。

**高性能林業機械(プロセッサ)を導入**



プロセッサによる造材作業

**林業指導所からのお知らせ**

**「林友会」会員募集**

「林業新知識」は、全国の林業に従事し、活躍されている方々の紹介。林業に関する悩み事相談等について。

**○会費について**

会員の年会費2,500円です。（毎月配布する「林業いばらき」及び「林業新知識」の購読料込み。）

**○お申し込み方法**

新規会員としてお申し込みされる方は、左記まで電話・FAX又は直接お申し込み下さい。

**「林友会」の活動内容**

**○機関誌の月刊「林業いばらき」**

**「林業いばらき」は、国・県**

等の林業行政の紹介や林業に從事する方の紹介。各林業指導所の活動内容の紹介。木材市況等のお知らせ。

**笠間林業指導所**

電話 0296(72)2510  
FAX 0296(73)0212



組合は、間伐等の素材生産以外に「支障木・危険木」伐採・台風等による倒木伐採等を実施しています。いずれも危険を伴う作業で担当する職員は最善の注意を払いながら作業をしております。

この度、自然災害への対応力強化を目的に笠間市消防職員を対象に当組合の職員が現場における危険木伐採や倒木処理の技術講習会を実施しました。

消防団本部員でもある当組合の星野課長を中心に消防署の隊員に、チェーンソーのメンテナンス方法や倒木処理の注意点など実際の現場を想定しての訓練を行いました。

この講習会の経験を活かして各隊員が自然災害に対し、安全な活動ができるよう期待しております。

組合では、今後とも地域貢献の一環として、地域と連携した事業や子供たちのインターシップ事業等に協力してまいります。



現場を想定した指導



チェーンソーの取扱い方法の指導

## 電話等での申し込み

## 現地調査と見積もり

## 日程の調整

## 伐採等の実施

## 請求…完了

支障木・危険木伐採の流れは次の通りです。

自宅や施設周辺の危険木や支障木の伐採については、高所作業車や林業機械を利用しての作業が多くなります。  
また、現場の状況や処理方法に作業内容が変わりますので、事前に見積等をしてからの実施になります。なお、日程等の調整がありますので、早めに申込みください。  
また、当組合が受託した業務については、事故や破損に対する法律上の賠償責任を負担する保険に加入しております。



高所作業車を利用した作業



支障木伐採作業の様子

## 「チエーンソーの技術講習会」を開催

## 「支障木及び危険木の伐採」について



組合の区域は笠間市・桜川市・城里町(七会地区)が区域になります。

組合に加入していれば、所有している森林の経営や管理について専門的な助言や事業を優先的に実施することが出来ます。

最近は、相続等や世代交代で所持している場所や内容がわからないう方が多くなってきています。組合の資料を基に調査をすることも可能となりますので是非加入の促進をお願いいたします。

加入の様式等については、ホームページをご覧ください。(笠間広域森林組合)で検索



## 組合員の状況

### ①組合員数

単位：人

資格区分	前期末	当期加入	当期脱退				当期末
			任意脱退	資格喪失	死亡又は解散	除名	
正組合員	1,476	10	7	0	0	0	7 1,479
准組合員	14	0	0	0	0	0	0 14
合 計	1,490	10	7	0	0	0	7 1,493

### ②出資口数

単位：口

資格区分	前期末	当期増加	当期減少	当期末
正組合員	23,924	640	40	24,524
准組合員	320	0	0	320
合 計	24,244	640	40	24,844

(令和4年3月31日)

## 組合員資格に係る届出のお知らせ 組合員の名義変更をお願いいたします

- 1、死亡による相続
- 2、譲渡
- 3、その他（住所変更等）

様式は組合ホームページからも  
ダウンロードできます。

新規組合加入や各届出は、常時受け付けております。

アドレス▶ <http://k-forest.or.jp>

問合せ先

笠間広域森林組合

検索

電話▶ 0296(72)2510

FAX▶ 0296(73)0212



組合の将来を考えたときに、この組合を支える若手の人材が必要です。そこで、早期に後継者の育成が求められます。このような中、今年度、新規職員として、2名の若手職員を採用し、「緑の雇用制度」を活用して林業後継者として研修中であります。

新型コロナウイルスによる社会経済への影響やロシアの問題により、すべての業種や生活に変化をもたらしております。組合運営につきましても、常に時代を見据えた運営が求められます。

組合の将来を考えたときに、この組合を支える若手の人材が必要です。そこで、早期に後継者の育成が求められます。このような中、今年度、新規職員として、2名の若手職員を採用し、「緑の雇用制度」を活用して林業後継者として研修中であります。

表紙の写真は、高性能林業機械ハーベスターの後継機として導入した、プロセッサによる造材作業の様子を掲載しました。

